



土木

2021 年度新規採用職員インタビュー

「土木分野から始める『魅力的な福島県』」

所属

土木部

都市計画課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私が所属する都市計画課では、都市の将来像を示す計画の策定や、その実現に向けて様々な業務を行っています。その中で私は、各市町村が道路や公園等の位置、構造等を都市計画決定するにあたっての技術的助言等を行っています。

その計画に携わることにより、私が暮らす福島県の都市が今後どのようなようになっていくのかを肌で実感できることにやりがいを感じています。



↑ 課内での打ち合わせの様子

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 土木職員の業務内容は多岐に渡っており、まだ知らないことばかりです。しかし、知らないことをそのままにせず、日々勉強しながら業務を行うという意識を常に持ち、土木に関する専門知識や業務経験等を幅広く身に付けていきたいです。

また、その知識・経験を活かし、福島県の土木行政が抱える様々な課題に対し、自分で考え取り組むことで、土木分野から「より魅力的な福島県」にすることを目標にしています。



INTERVIEW

福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. 私は福島県で生まれ育ったため、地元で貢献できる仕事をしたいという思いがありました。そこで、公共事業に携わり、県民の方々の生活をより便利で安全なものに向上させることで、地元で貢献できる場所に魅力を感じて、県の土木職を希望しました。



↑福島県都市計画審議会で説明しています。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「ドライブ」「食べ歩き」「まちの魅力を知る」「旅行」「趣味は料理」

Q. 「ドライブ」について教えてください。

A. 私は週末に、観光や食事をしながらドライブを楽しんでいます。県職員の勤務先は県内各地にあるため、名所や美食に出会えることを楽しみにしています。

Q. どうやって仕事を覚えていますか。

A. 業務を進める中で、悩んだり難しさを感じたりすることはたびたびありますが、まずは過去の書類や以前に先輩からいただいたアドバイス等を参考に、自らの考えを整理しています。そのうえで、わからないところは、改めて先輩に尋ね、得た知識は自分の糧とするように心がけています。



↑都市計画情報を確認しています。